

国際スポーツ大会の開催や キャンプ誘致に対する支援等について

九州・山口地域においては、今後、大規模国際スポーツ大会等が相次いで開催される。特に、2019年には、福岡県、熊本県、大分県でラグビーワールドカップ、熊本県で女子ハンドボール世界選手権大会、2020年には東京2020オリンピック・パラリンピック大会開催に伴うキャンプ受入れ等、2021年には福岡県で世界水泳選手権大会等の開催に際しては、国内外からの観戦客や大会関係者、観光客等の急増が見込まれている。

こうした、国際スポーツ大会の開催やキャンプの受入れ等は、地域の魅力発信、地域経済浮揚の好機であることから、訪日外国人旅行者や大会関係者の受入準備はもとより、さらなるインバウンド需要の取込みや広域周遊観光の促進、国際交流の活性化の取組を官民一体となって着実に進めているところである。

国においては、これら地方の取組を後押しし、課題解決を図るとともに、九州・山口各県が取り組む今後の国際スポーツ大会誘致の実現に向けて、以下の項目について適切な措置を講ずるよう強く求める。

1 訪日外国人旅行者や大会関係者等の受入れ環境の充実

訪日外国人旅行者やアスリート等大会関係者などの増加に対応するため、入国審査の迅速化や標識の多言語化、キャッシュレス対応の促進、災害時の安心安全の確保等、受入環境の整備や観光の魅力向上に向けた地方の取組を支援するとともに、国においても諸課題の解決に向けた取組を一層充実・強化すること。

2 さらなる国際スポーツ大会誘致と競技普及の促進

大規模国際スポーツ大会の開催により、地域経済の活性化をはじめ、住民の地域への誇りや愛着につなげるため、さらなる大会誘致を進めることが重要である。

そのため、今後の大会誘致に向けて地方が行う施設整備・改修やキャンプ誘致、競技普及に向けた取組について継続的に支援を行うこと。

令和元年6月

九州地方知事会長

大分県知事 広瀬 勝貞